

# 令和7年度内部監査結果及び令和8年度内部監査実施計画について

令和8年4月  
京都府公立大学法人

## I 令和7年度内部監査の主な結果

### 1 監査結果の評価

(数字は件数)

内部監査結果評価区分		府立医大	府立大学	計
指摘事項	違法又は不当な事項で改善すべきもの	6	5	11
検討事項	業務の改善等について検討を要するもの	7	4	11
注意事項	会計処理等について軽微な誤りがあるもの	2	1	3

### 2 主な指摘等事項の内容

#### (1) 毒物及び劇物の取扱状況について（指摘）

- 毒物劇物の不適切な取扱が確認されたため点検マニュアルや定期点検の回数の見直し等、是正・改善に向けた取組が必要  
(医大) 府監査委員監査等での指摘と同様の毒物劇物管理簿に記載のない毒物  
(両大学) 不適切な保管庫の鍵の管理や管理簿記載の数量と実際の数量との不一致等

#### (2) 働き方改革に係る時間外・休日労働の削減に向けた取組状況について（指摘）

##### ① 診療に従事する医師以外の職員（令和6年度実績）

- 依然、両大学とも労基法及び36協定違反の状況にあるため、段階的な削減目標として36協定上の年間600時間超過者の解消に向け取り組み、特に年間1,000時間超過者は年度内に解消できるよう取り組むこと。  
(医大) 年間600時間超29名(うち3,4年連続8名)、年間1,000時間超が1名(過去6年間連続)  
(府大) 年間720時間超1名

##### ② 医師の働き方改革に関する適合状況（令和6年度実績）

- 36協定上の月の上限規制で附属病院(月100時間(A水準)、月155時間(A水準以外)及び北部医療センター(月110時間(A水準))とも超過者が確認されたため、時間外・休日労働時間の削減に向けた取組が必要
- 医師労働時間短縮計画目標に対して、附属病院及び北部医療センターとも未達成の所属があり、今後計画目標の達成に向けた取組が必要

#### (3) 府立医科大学附属病院における施設基準の適合状況について（5・6年度実績）（検討）

- レセプト請求及び診療報酬の収納状況を調査した結果、審査支払機関による減額査定や返戻(差し戻し)は病院収益の損失、病院収入の遅延等を招くため、早期に再請求や再審査請求に向けた対応が必要
- 病名の記載や診療報酬の算定等の漏れを防止するためのダブルチェック体制の整備、「社会保険診療審査委員会」などを活用した診療報酬の獲得に向けた戦略的な取組を組織的に推進する場の設置など、適正かつ的確なレセプトの作成する仕組みづくりの検討が必要
- 上記検討事項の他に、診療報酬の増額に向けた新たな施設基準(ICU整備、リハビリテーション加算、チーム医療加算等)の取得についても課題

## II 令和8年度内部監査実施計画

実施時期	監査項目	対象期間(所属)
令和8年 4月～6月	大学入試の実施体制及び入試ミスの防止の取組の状況	医大(教育支援課 他) 府大(学務課 他)
7月～9月	働き方改革に係る時間外労働の削減に向けた取組の状況 (有期雇用を含む教職員及び診療に従事する医師を含む)	両大学(総務課)
10月～12月	公的研究費(科研費・受託研究費)の執行状況 (両大学の内部監査部門と連携実施)	両大学公的研究費執行 所属
令和9年 1月～3月	京都府立医科大学附属病院における施設基準の適合状況	医大(医療サービス課 他)